



令和7年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社 東京一番フーズ
代表者名 代表取締役社長 坂本 大地
(コード番号 : 3067 東証スタンダード)
問合せ先 専務取締役 岩成 和子
(TEL : 03-5363-2132)

通期連結業績予想と実績値との差異、及び特別損失（減損損失）

の計上に関するお知らせ

令和7年9月期連結業績予想と本日公表の実績値との間に、下記のとおり差異が生じましたので、お知らせいたします。また、令和7年9月期連結累計期間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）において、特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 令和7年9月期連結累計期間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）通期予想値と実績値との差異

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,082	百万円 331	百万円 341	百万円 293	円 錢 32.52
実績 (B)	7,250	195	185	75	8.51
増減額 (B - A)	△831	△135	△156	△217	
増減率 (%)	△10.3%	△41.0%	△45.7%	△74.1%	
(ご参考) 前期実績 (令和6年9月期)	7,452	217	246	39	4.38

（2） 差異が生じた理由

米国における先行き不透明感による個人消費支出の一時的抑制ならびに新規店舗開店準備に伴う費用発生等により、売上高・営業損益、経常損益それぞれにおいて業績予想を下回りました。また、グループファイナンス最適化の遅れに伴い米国事業における現地資金調達ならびに税金税効果会計への負の影響（海外子会社でありグループ法人税制適用対象外）の発生により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回りました。数値詳細につきましては、本日（令和7年11月14日）に公表いたしました「令和7年9月期決算短信」をご参照ください。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、当社が保有する一部店舗資産等の将来の回収可能性を検討した結果、当第4四半期会計期間において、減損損失 25百万円を含む特別損失 26百万円を計上しました。結果、令和7年9月期において、減損損失 52百万円を含む特別損失 54百万円計上しました。

以上